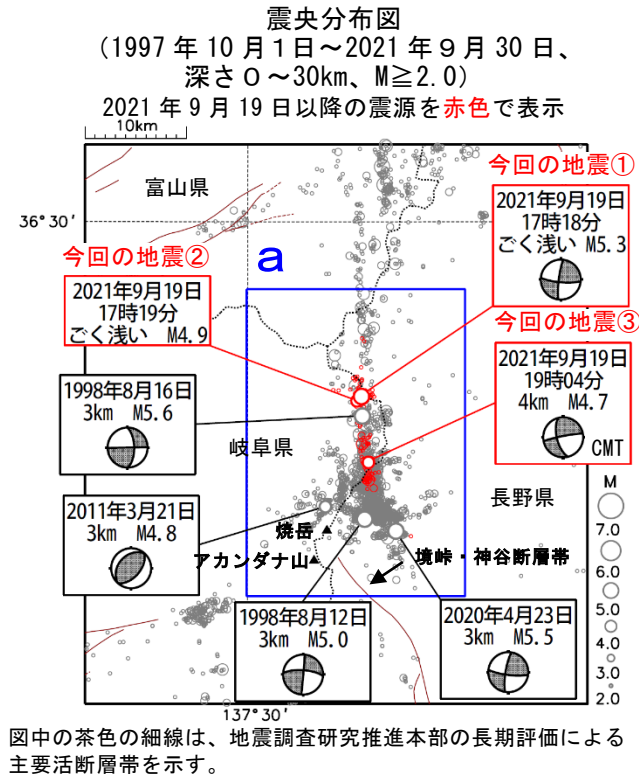


9月19日 岐阜県飛騨地方の地震 （長野・岐阜県境付近の地震活動）

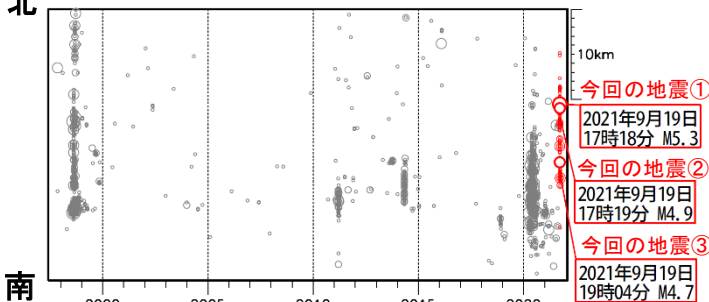


2021年9月19日17時18分に岐阜県飛騨地方のごく浅い場所で $M 5.3$ の地震（最大震度4、図中①）が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の後、同19日17時19分にごく浅い場所で $M 4.9$ の地震（最大震度3、図中②）が発生した。また、19時04分には深さ4kmで $M 4.7$ の地震（最大震度3、図中③）が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震の震央付近では、地震活動が活発になり9月30日までに震度1以上を観測する地震が32回（震度4：1回、震度3：2回、震度2：8回、震度1：21回）発生した。

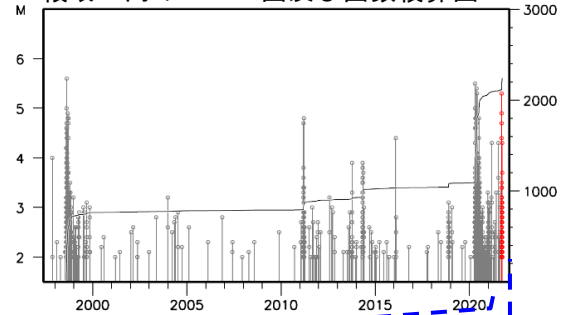
1997年10月以降の活動をみると、領域aでは時々活発な地震活動がある。1998年の活動では、8月12日に $M 5.0$ （最大震度5弱）の地震が発生している。また、2020年の活動では、4月23日に発生した $M 5.5$ （最大震度4）の地震を含め、震度1以上を観測する地震が2020年7月31日までに225回発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M 5$ 程度の地震が時々発生しているものの、 $M 6.0$ 以上の地震は発生していない。

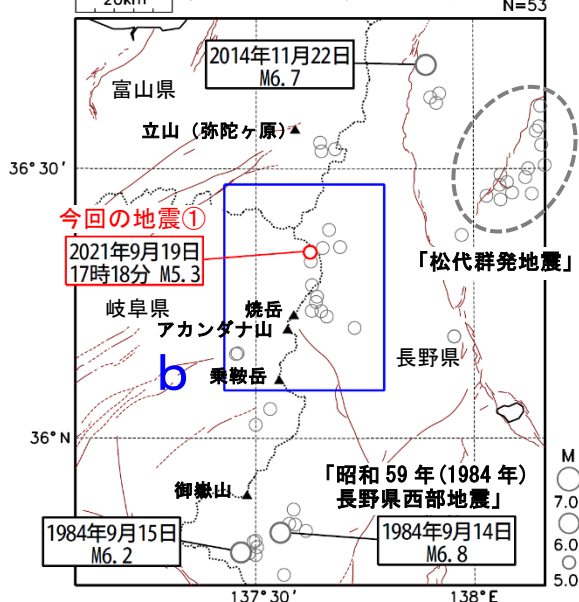
領域a内の時空間分布図（南北投影）



領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
（1919年1月1日～2021年9月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$ ）
N=53



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による主要活断層帯を示す。

領域b内のM-T図

